

記者発表資料

平成27年12月10日
国土交通省三陸国道事務所
田野畑村

復興道路の発生土を復興まちづくりに活用

～復興支援の一環として現場発生土を復興まちづくりに有効活用します～

国土交通省三陸国道事務所では、震災復興支援の一環として整備中の三陸沿岸道路・尾肝要普代道路で発生する土砂を、田野畑村が施工中の「平井賀漁港地区漁業集落防災機能強化事業」に提供し、地域の復興事業を積極的に支援していくこととなりました。つきましては、以下の日時により現地にて報道機関向け説明会を行いますので、お知らせします。

【日時】平成27年12月17日(木) 13:30～(30分程度)

【場所】下閉伊郡田野畑村羅賀地内…(ホテル羅賀荘向かい) 別紙図を参照

【その他】説明会への出席希望者は事前に三陸国道事務所松原(※)下記問い合わせ先)まで 事前連絡をお願いします。

○岩手県沿岸地域の公共事業に伴う建設発生土については、国・県・市町村と調整し、それぞれの事業間で有効活用を図ることとしています。

○その調整に基づき、田野畑村より土砂提供の要望があった平井賀漁港地区土地利用高度化再編整備羅賀地区工事に、三陸沿岸道路(尾肝要～普代工区)の道路工事からの発生土約65千³mを提供し、かさ上げ等の盛土材に活用します。

○羅賀地区は、東日本大震災により被災した道路と背後の土地の嵩上げを行い、災害に強い地域を作り、ホテル羅賀荘(H24.11.21に被災からの営業再開)と併せ、水産共同倉庫・共同作業場等の水産施設を配置することで、水産業の拠点形成を図り、一体的な土地活用を目的として、平成29年度の完成を目指しています。

《発表記者会：岩手県政記者クラブ、宮古記者クラブ、東北専門記者会各社》

問い合わせ先

【土砂提供・報道機関向け説明会に関すること】

国土交通省東北地方整備局 三陸国道事務所

〒027-0029 宮古市藤の川4-1 電話 0193-62-1711(代表)

(※)工務第二課長 松原陽一(内線421) 建設監督官 山内正興(内線501)

【平井賀漁港地区漁業集落防災機能強化事業に関すること】

田野畑村役場

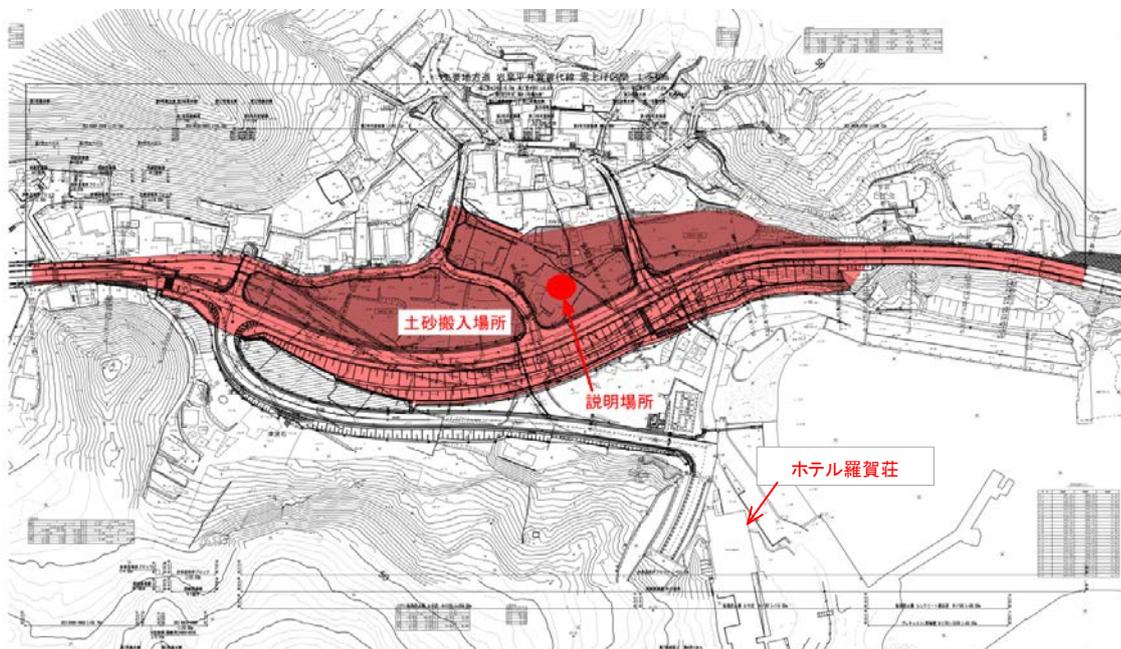
〒028-8407 下閉伊郡田野畑村田野畑143-1 電話 0194-34-2111(代表)

建設第一課長 畠山 恵太

位置図



説明会場拡大図



現地には案内看板を設置しています

平井賀漁港地区漁業集落防災機能強化事業

土地利用高度化再編整備羅賀地区工事

◎工事概要

| | |
|---------|-------------------------|
| 工事延長 | 540.0 m |
| 面積 | 約 17,000 m ² |
| 造成面積 | 約 6,270 m ² |
| 盛土高(標高) | T.P. 21.4 m以上 |
| 最大盛土高 | 約 9.0 m |
| 盛土量 | 約 65,000 m ³ |



完成予想図

田野畑村防災事業土砂提供報道機関説明会 次第

平成 27 年 12 月 17 日 (木)
13:30～ (30 分程度)
ホテル羅賀荘向かい現場

1. 平井賀漁港地区漁業集落防災機能強化事業説明・・・
田野畑村
2. 三陸沿岸道路からの土砂提供説明・・・三陸国道事務所
3. ダンプからの土砂投入

尾肝要普代道路（尾肝要～普代） L = 8 km

路線概要

三陸沿岸道路「尾肝要普代道路(尾肝要～普代)」は、田野畑尾肝要から普代村第11地割を結ぶ約8kmの自動車専用道路です。

現道の線形不良区間を回避し、走行性が向上するとともに、所要時間の短縮により救援物資の輸送拠点となる久慈港と宮古市間のアクセス性向上、救急医療施設への速達性向上等の効果が期待されます。

平成27年度は、用地買収、改良工事、トンネル工事、橋梁工事を促進します。

計画諸元

| | 尾肝要普代道路 (尾肝要～普代) |
|------|---------------------|
| 起 点 | 下閉伊郡田野畑村尾肝要 |
| 終 点 | 下閉伊郡普代村第11地割 |
| 延 長 | 8km |
| 幅 員 | 2車線 13.5m |
| 構造規格 | 第1種第3級 |
| 設計速度 | 80km/h |

